

第68話

就職活動の準備

『労働』に携わる…

を考えよう

就職活動のファーストステップとして、多くの方々がまずは自分の興味・関心は何なのか、仕事として何がやりたいのかということに悩みますよね。

ただ単に『働く』ことと『労働』との違いは何でしょう。

『労働』は『働く』に『労い（ねぎらい）』が伴いますね。

それは、あなたの働きに対して給与が支給されるということです。

そして、給与が支給される背景には経済活動がある訳です。

つまり、『市場でのニーズ・価値』があってはじめてこの関係が成り立つ

ということです。

その前提を踏まえないと、自分の興味・関心ややりたいことといった一面的な視点だけでは、希望する求人が見つからない場合もあります。

一面的な視点だけで自問自答を繰り返すという無限ループに陥ってしまい、就職活動に挫折してしまう可能性もあります。

その様なことにならない為には、まず労働（あなたの強み・スキル・経験など）を通じて『在りたい自分』というコアな部分をしっかりと持ちながら、世の中の動きや変化など多角的な視点で今の世の中が必要としている労働力（業種・職種）がどの様なものかなのかを把握する必要があります。

そして、自分自身の労働をそのニーズに対してどう活かしたいのか、どのように活かされるのか、あなたの「市場価値」が何なのかということを具体的に考えていくことが

とても重要なポイントなのです。

就職活動は求職者（皆さん）と求人者（求めている人材）のマッチングと言われます。

偶然性ではなく必然性であるとそのマッチング度がより高まります。

『労働』に携わる…を、あなたと世の中の繋がりという広い視野で、多面的、多角的にしっかりと考えてみましょう。

学卒ジョブサポーターは、県内15か所の全てのハローワークに配置されております。
今回はハローワーク川越 学卒ジョブサポーターからの「一言」です。